

しよばら

市議会だより

号外

開かれた議会をめざし

議会報告会を開催

発行:平成28年9月20日

庄原市議会では、開かれた議会をめざし、市民の皆さんへ日ごろの議会活動の状況を報告し、ご意見やご提言を直接伺うため、議会報告会を開催しました。7月11日から21日の間、各地域をお伺いし、計375名の方にご参加いただきました。



高自治振興センター



総領自治振興センター

今回の議会報告会は、総務常任委員会、教育民生常任委員会、企画建設常任委員会の3常任委員会の調査事項を報告しました。
そして、自治振興区の協力をいただき、地域別テーマによる意見交換なども行いました。



八幡自治振興センター



口和自治振興センター



西城自治振興センター

また、選挙権年齢が18歳以上に引き下げられたことを受け、市内3つの高等学校(庄原格致高校、西城紫水高校、東城高校)を訪問し、市議会の概要について報告しました。



比和自治振興センター



上高自治振興センター

議会報告会の概要は、8月19日発行のしよばら市議会だより第48号に掲載しております。このたびは会場から寄せられた意見等を抜粋し、お知らせします。

議会報告会でいただいたご意見・ご要望等を、今後の議会活動に活かしていきます。

総務常任委員会

● 公契約条例について

問 公共事業は、本市において経済効果が大きい。公契約条例を策定した場合、市民である従業員にどのように反映されるのか。

答 従業員の方に対し、適正な労働条件の確保や社会的な価格の実現を図るようにしたい。

問 公契約条例の策定により、労働条件の賃金をどのようにするよう考えているのか。

答 賃金の目安としては、労務単価の80〜85%であるが、本市においては、これからの検討課題である。

問 地元業者が、より育っていく方法を考えていくべきではないか。

答 地元業者が生き残れるようになるため、より適切な条例をつくるよう、議会でのよい方向に進んで行きたい。

問 この件について視察に行かれたのは、何か問題が発生したからなのか。

答 まちの活性化のため、条例が必要と思い、視察に行った。

問 指定管理を受けている事業者(特に保育業務)が、従業員に対して積算金額どおりの賃金を支給していない。それぞれの事業者で差異があるのは、なぜなのか。

答 この課題については、議会での一般質問も多く出ている。執行者からも内容をしっかりと調査し、改善に向けて努力すると答弁があった。



教育民生常任委員会

● 地産地消について

問 共同調理場で、地産地消は難しいと言われたが、東城ではさらに中学校の給食まで一緒に調理することとしている。矛盾していないか。

答 共同調理場への移行は、本市の方針である。しかし、その中でも小規模の調理場においては、地産地消が可能と考える。

問 地産地消は、重要な課題であるし、特に学校給食においては、安心・安全な食材を提供することが大切である。そうすることで素晴らしい食育だと強く感じるのではないか。また、地産地消を推進することは、地域経済の発展につながると思う。

答 本市では、既に共同調理場方式を採用しているが、財政効率化の視点だけでなく、学校給食において、食育の視点から地産地消に取り組み、人的・財政的な対応をすべきと考える。ただ、執行者も、将来に向けて予算が拡大するため、慎重になっている。

● 高齢者の交通対策について

問 北地区では、市民タクシー制度を活用しているが、タクシーの数も減少してきているので、次第に利用しにくくなるのではないかと思う。

答 これから10年後、20年後、この地域でどう生きていくかを考えるための一つのツールとして考えなければならぬ。法の仕組みによって、いろいろ工夫できるようにもなっており、多方面で検討する必要がある。

問 帝釈地区では、全てのバス路線を市民タクシーに移行する。1人乗車の場合、自己負担増や自治振興区の持ち出しが生じる。何か手立てを考えているか。

答 それぞれの地域にあった交通体系が考えられなくてはならない。今後の課題として、執行者と議論していく。



企画建設常任委員会

● 林業振興施策について

問 木の駅プロジェクトには補助金を出しているが、山の関係について、ほとんど補助金がない。山主に少しでもお金が入ってくる手立てを検討してほしい。

答 来年度から木の駅プロジェクトに対する補助金が終了する。今後は、廃材を6次化して、束木やペレットにして発電するといったことに取り組み必要がある。

● 観光振興施策について

問 庄原駅周辺の整備が行われている。改めて、この整備の目的は何か聞かせてほしい。

答 長期総合計画の中で、庄原の玄関口として整備してきた。時世の流れにより当初より縮小されている。



● 農業振興施策について

問 耕作放棄地が多くなっている。早期の取り組みが必要ではないか。

答 提言をしている。集落法人など新しい形での有効活用ができないか検討している。

問 農業も採算の取れる事業となるよう考えてほしい。企業は採算性が取れない地域には来ない。狭い耕作地について、どのようになっているか。

答 (株)vegetaは、地元雇用や狭い耕作地での作付けも行っている。今後、他企業の参入も図れるよう対策を考えていく。

意見交換(地域別テーマ)について

事前に指定していただいた地域別テーマを中心に参加者と意見交換を行い、さまざまな意見をいただきました。一部を抜粋し掲載します。

● 意見

超高速情報通信網の利用方法について、どのような検討をしているか。全市に敷設が完了してからは遅い。見守りへの活用など、今から考えるべきではないか。

● 回答

サテライトオフィスや高齢化社会への対策といった活用を検討し、執行者へ提言していきたい。

● 意見

部長制について、一度廃止したものを復活させたが、どのような見解を持っているか。

● 回答

行政の業務の範囲が多岐にわたっており、担当だけでは解決できない課題もある。他の部署と横断的に連携をとるためにも部長制が必要と判断

した。組織は、変えてみて弊害があれば、手直しすればいいと思う。

● 意見

コンパクトシティ化が進むとますます地域は疲弊すると思う。性急に進めないでほしい。

● 回答

現在、比和と西城に冬期の高齢者向け住宅の整備が進められている。コンパクトシティ化には、長い年月を要し、住民の皆さんの賛同なくしては進められない事業である。

● 意見

合併後、地域課題に対し、頑張れと言われることが多くなり、行政職員が出向くことが少なくなってきた。モノづくりではなく、ヒトづくりにシフトしてほしい。

● 回答

行政効率の面から職員数は減少し続けている。支所の人員削減については、議会でも議論しており、市民の視点に立った配置を提言している。



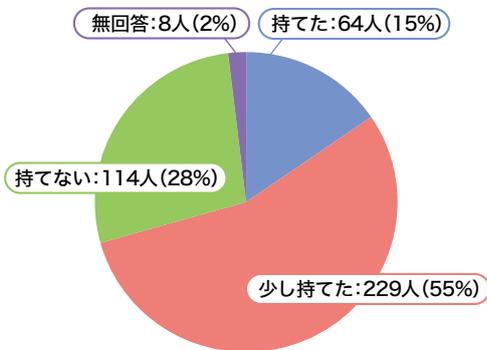
庄原格致高等学校

高校会場

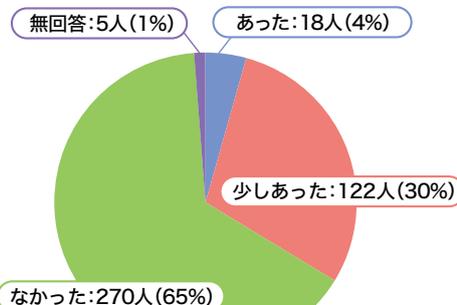
選挙権年齢が18歳以上に引き下げられたことを受け、庄原格致高校全校生徒、西城紫水高校2・3年生、東城高校2・3年生の合計415名を対象に、議会の概要についての報告を行いました。

報告会終了後に行ったアンケートの結果及び会場で出された質疑の一部を抜粋して掲載します。

今回の議会報告会に参加したことで、市議会に関心が持てましたか。



これまで、市議会に関心はありましたか。



アンケート結果

議会報告会をとおして、議会に対する関心度を高めることができました。

議会報告会に参加した感想

- わかりやすく、ためになりました。
- このような会を開催してくれたことで、議会のことがよく理解できました。
- 将来、市議会議員になりたいと思った。
- どんなことをしているかはわかったが、具体的にどんなことを審議しているのか聞きたかった。
- もっと庄原市の問題を教えてほしい。

市議会や議員に期待することは何ですか

- 市民の意見を聞いて、庄原市をよりよい市にしてほしい。
- 庄原に行きたい、大人になっても帰ってきたいと思えるまちにしてほしい。
- 働く場をふやしてほしい。
- 高齢者と若者が気軽に話し合えて、お互いに関心が持てるような政策をしてほしい。
- 庄原に今何が必要なのか考え、高校生がどのように手伝えるのか教えてほしい。

会場での質疑

質問 今問題となっている課題に対し、高校生として、どのような活動をすればいいか。

回答 今すぐでなくていい。高校を卒業して市外に出ても、力を蓄えて戻ってきてほしい。まず、家庭で議論をしてほしい。

質問 なぜ議員を目指したのか。

回答 市民は直接予算の使い道を決めることができない。家族や地域のことを考え、自分の考えを直接市政に反映できる立場になろうと決意した。

庄原市議会では、今後も市民の皆さんのご意見を直接伺いし、意見交換ができる身近な議会報告会となるよう努めてまいります。

なお、議会報告会の内容を取りまとめた報告書は、各自治振興センターへ送付し、ホームページにも掲載しますので、ごらんください。

発行 庄原市議会
編集 議会広報委員会
〒727-8501
広島県庄原市中本町一丁目10番1号
☎ 0824-73-1162